

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	5 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校国語総合 改訂版」(三省堂)						
副教材等	体系古典文法(数研出版) 必携新明説漢文(尚文出版) 重要頻出漢字リアルマスター3300(尚文出版)等						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・古典、現代文ともに授業担当者から指示された予習を必ず行ってから、授業に臨みましょう。
- ・文章記述、意見発表などの表現活動や、課題に対して、話し合いを通して周囲と協働して考える活動を行います。
- ・現代文の授業では、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、自分の考えを伝えるための「書く能力」を身につけてください。
- ・古典の授業では、たくさんの作品に触れて古文漢文の世界に親しみましょう。理解を深めるために、文法や語彙をしっかりと身につけてください。
- ・漢字や古典文法、古文単語については、適宜小テストなどを行うので、一年間で計画的に身につけましょう。

2 学習の到達目標

日本語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、日本語の向上を図る態度を育成する。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、プリント等)	行動の観察 (話し合いへの参加、発表者としてふさわしい話し方、聞き手としてふさわしい態度)	記述の確認及び分析 (ノート、プリント、発表資料等)	記述の確認及び分析 (プリント) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、プリント等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論(一)	【近代以降】 〈教材〉 随想的な現代評論文	◎	○			○	a:新しい視点が必要だという主張から自分の高校生活への抱負を考えようとしている。 b: 新しい視点が必要だという主張から自分の高校生活への抱負を考えている。 e:随想的な評論の読み方を理解している。	a,b,e: 行動の確認と観察
	評論(二)	【近代以降】 〈教材〉 現代評論文	○			◎	○	a:論の推移を的確にとらえようとしている。 d:論の推移を的確にとらえている。 e:本文中の語彙を正しく理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認及び定期考査
	小説(一)	【近代以降】 〈教材〉 近代小説	○			◎	○	a:小説の表現効果を理解しようとしている。 d:小説の表現効果を理解している。 e:慣用的、比喩的な語を正しく理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d,e: 記述の確認及び定期考査
	詩	【近代以降】 〈教材〉 近代詩	○		◎		○	a:詩の鑑賞の仕方を理解しようとしている。 c:詩の鑑賞の仕方を理解している。 e:口語詩と文語詩のリズムを理解している。	a,c: 行動の観察及び記述の点検 e:行動の観察、定期考査
	古文入門	【古典】 〈教材〉 説話 文法/歴史的仮名遣い、用言	○			◎	○	a:登場人物の心情を読み取ろうとしている。 d:登場人物の心情を読み取っている。 e:文語のきまりを理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	随筆	【古典】 〈教材〉 中世随筆 文法/助動詞	○			○	◎	a:文章の構成や展開に即して作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 d:文章の構成や展開に即して作者の思想や感情を読み取っている。 e:助動詞を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期 考查 e:小テスト及 び定期考查
	漢文入門	【古典】 文法/訓読の基本	○			○	◎	a:古代中国の世界に親しみ、それとの比較を通して日本文化をより深く理解しようとしている。 d:古代中国の世界に親しみ、それとの比較を通して日本文化をより深く理解している。 e:訓読、書き下しのきまりを理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期 考查 e:小テスト及 び定期考查
	故事成語	【古典】 〈教材〉 故事成語	○			○	◎	a:平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解しようとしている。 d:平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解している。 e:漢文訓読の基本事項を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期 考查 e:小テスト及 び定期考查
後期	評論(二)	【近代以降】 〈教材〉 現代評論文	○			◎	○	a:二項対立的な評論の展開を理解しようとしている。 d:二項対立的な評論の展開を理解している。 e:日本人の意識構造について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述 の点検 d,e:記述の 確認及び定期 考查
	小説(二)	【近代以降】 〈教材〉 近代小説	○			◎	○	a:短編小説のおもしろさを味わおうとしている。 d:短編小説のおもしろさを味わっている。 e:作者について知識を増やしている。	a:行動の観察及び記述 の点検 d,e:記述の 確認及び定期 考查

短歌と俳句	【近代以降】 〈教材〉 近代短歌俳句	○		◎		○	a:短歌俳句の特徴について興味関心を持とうとしている。 c: 短歌俳句の特徴について興味関心を持っている。 e:近代短歌俳句の代表的な作者・作品について理解を深める。	a:行動の観察及び記述の点検 c,e:記述の確認及び定期考査
評論(四)	【近代以降】 〈教材〉 現代評論文	○			◎	○	a:文章の構成や論理の展開とそれにふさわしい表現について考察しようとしている。 d: 文章の構成や論理の展開とそれにふさわしい表現について考察している。 e:評論で筆者が用いる独特の表現を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e:記述の確認及び定期考査
小説(三)	【近代以降】 〈教材〉 近代小説	○			◎	○	a:情景描写、登場人物の心情から小説世界を理解しようとしている。 d: 情景描写、登場人物の心情から小説世界を理解している。 e:近代の代表的な作家について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e:記述の確認及び定期考査
評論(五)	【近代以降】 〈教材〉 現代評論文	○			◎	○	a:筆者の立脚する学問的立場から問題を捉える契機としようとしている。 d: 文章の構成や論理の展開とそれにふさわしい表現について考察している。 e:例から主張へと集約する読解方法を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d,e:記述の確認及び定期考査

	物語	【古典】 〈教材〉 歌物語	○			○	◎	a:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わおうとしている。 d: 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わっている。 e:和歌の修辞を理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:定期考査
	日記	【古典】 〈教材〉 中古日記 文法/助詞	○			○	◎	a:日記を読んで、人間・社会などに対する作者の考えを読み取ろうとしている。 d: 日記を読んで、人間・社会などに対する作者の考えを読み取っている。 e:助詞・助動詞の接続や訳し方について理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:定期考査
後 期	軍記物語	【古典】 〈教材〉 中世軍記物語 文法/敬語	○	◎			○	a: 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しもうとしている。 d: 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しんでいる。 e:敬語や音便について理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:小テスト及び定期考査
	史伝	【古典】 〈教材〉 史伝	○			◎	○	a:平易な文章の漢文訓読に親しみ、本文の展開に着目して読もうとしている。 d: 平易な文章の漢文訓読に親しみ、本文の展開に着目して読んでいる。 e:戦国時代の思想家について理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:定期考査

漢詩	【古典】 〈教材〉 唐詩 文法/漢詩のきまり	○	○			◎	a:唐詩を読み味わい、中国の自然や人間の心理を感じ取ろうとしている。 d: 唐詩を読み味わい、中国の自然や人間の心理を感じ取っている。 e:近体詩のきまりについて理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:定期考査
思想	【古典】 〈教材〉 「論語」	○				◎	○ a:儒教思想が現代の日本でどのような影響を与えているか考えようとしている。 d: 儒教思想が現代の日本でどのような影響を与えているか考えている。 e:孔子・孟子の考えを理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:定期考査
説話	【古典】 〈教材〉 漢文文章	○				◎	○ a:文章の表現・構成の巧みさを理解しようとしている。 d: 文章の表現・構成の巧みさを理解している。 e:文中の語彙や句法を理解している。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期 e:定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力
c:書く能力 d:読む能力 e:知識・理解

※ 年間指導計画作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校 現代社会 新訂版 (実教出版)						
副教材等	政治・経済 (東京法令出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・まずは、社会や文化、政治と経済、国際関係など、多様な面から現代社会を理解してほしい。そのためには、学校の授業に止まらず、新聞やニュース、読書、フィールドワークなど、さまざまな方法で幅広い知識を得ることが重要である。
- ・次に、現代社会の理解を踏まえて、各自がいかに生きるかを考察してほしい。その際、「幸福と何か」「正義とは何か」「公正とは何か」を考え、各自の視点で考察を深めていくことが重要である。
- ・最後に、自己の考えをまとめて発信する力を付けて欲しい。レポート提出や新聞発表などの機会を設けるので、積極的に取り組んでほしい。

2 学習の到達目標

- ・現代社会のあり方、政治や経済のしくみ、国際社会のあり方を理解する。
- ・現代社会、政治・経済、国際社会の課題をとらえ、それらはどのようにして解決していくべきかを考察する。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用 of 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代社会で起こっている事象や現代社会の課題を積極的に見だし、問題意識をもってその解決に取り組もうとする。	現代社会の課題に対して、多面的な側面から、幸福・正義・公正の視点をもって考察し、自らの表現でそれを発表する。	現代社会を考察するために、政治、経済のしくみ、法のあり方、国際関係のあり方などについて、教材や資料などから情報を収集し活用する。	現代社会に対する理解を基本として、自己の生き方や将来の社会のあり方を考察し、自己の考え方を確立する。
評 価 方 法	レポート 定期考査 (記述問題)	新聞記事の発表 ワークシート 定期考査 (記述問題)	ワークシート 定期考査	レポート 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期1	現代社会の諸課題	・地球環境問題 ・資源エネルギー問題 ・生命科学と倫理 ・高度情報社会の問題点	○	○	○	○	a: 課題に関心を持つ b: 課題を考察し, 解決策考え発表する c: 課題に対する知識を深める d: 将来の社会のあり方を考察する	レポート 発表 ワークシート
前期2	現代の民主政治と憲法	・民主政治の基本原則 ・憲法の基本原則 ・国会・内閣・裁判所 ・地方自治 ・政党と選挙, 政治参加	○	○	○	○	a: 政治や憲法に関心を持つ b: 政治や憲法の課題を考察し, 解決策考え発表する c: 政治や憲法に対する知識を深める d: 将来の社会のあり方を考察する	発表 ワークシート 定期考査
前期3	民福祉 現代の経済社会と国	・経済社会の変容 ・企業活動と市場 ・金融・財政 ・戦後の日本経済の歩み ・公害問題と消費者問題	○	○	○	○	a: 経済に関心を持つ b: 経済的な課題を考察し, 解決策考え発表する c: 経済に対する知識を深める d: 将来の社会のあり方を考察する	発表 ワークシート 定期考査
後期1	向 国際政治と国際経済の動	・国際社会と国際法 ・国連のしくみと役割 ・軍縮と民族紛争 ・国際経済のしくみ ・グローバル化と地域主義 ・途上国問題と国際協力	○	○	○	○	a: 国謝意社会に関心をもつ b: 国際社会の課題を考察し, 解決策考え, 発表する c: 国際社会に対する知識を深める d: 将来の国際社会のあり方を考察する	発表 ワークシート 定期考査
後期2	己 青年期と自	・青年期の意義と課題 ・哲学と宗教 ・人間の尊厳と自由			○	○	c: 青年期や哲学・宗教などの知識を深める d: 自己の生き方と社会のあり方を考察する	レポート 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用 of 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

平成 31 年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（男子）	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 保健体育」（第一学習社）						
副教材等	「アクティブスポーツ」（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己の能力に応じて体力の向上を図り、その過程において体験する運動の楽しさを学ぶこと。
また、チームスポーツを通じて協力、責任、リーダーシップ、対戦相手への敬意といった集団行動の資質を磨くこと。

2 学習の到達目標

生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を培う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・自己の体力、技能を向上させる積極的な姿勢を身につける ・円滑な集団での運動実施のために必要となる協力的態度を身につける	・個々に応じた体力や技能を高めるためのトレーニングや練習を選択する力を身につける ・ゲーム場面での適切なプレーの選択、自己の役割を判断する ・集団の中での発言、リーダーシップ	・各運動技能を身につける ・身につけた運動を速く、正確に、力強く発揮する ・ゲームの場面において身につけた運動を発揮する	・スポーツのルールや、運動を安全に実施する方法を理解する ・自己の体力や技能を高める方法を理解する
評 価 方 法	・出席の記録 ・積極的姿勢を記録 ・協力的姿勢を記録	・技能や記録を伸ばすための工夫を記録 ・練習方法の観察及び記録 ・ゲームパフォーマンス（プレーの選択、周囲への声かけ、作戦など）の記録	・スキルテストやタイム計測などの記録 ・ゲームパフォーマンス（得点など）の記録	・各種目での準備や片付けを観察及び記録 ・ゲームや記録測定を観察及び記録 ・準備運動、整理運動、補強運動の観察及び記録
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6	ラジオ体操	ラジオ体操第2	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:ラジオ体操1つ1つの動きの目的を考え、その目的に合った動きを選択して行う c:体操を正確に実施する d:体操の目的を理解	出席等記録 体操テスト
	陸上競技 (短距離)	ランニングフォーム アジリティ スタート技術 タイム測定 リレー	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:リレーでのリードするタイミングの判断 c:タイム計測 d:ランニングフォームの理解	出席等記録 タイム計測
	バレーボール	基本技術 レシーブ・トス スパイク・サーブ ルールの理解 ゲーム	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:プレーの選択 周囲への声かけ c:スキルテスト d:ゲームルール理解 ポジションの理解	出席等記録 スキルテスト
	体づくり運動	縄跳び (前後2重跳び)	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:独自の工夫 c:回数記録 d:仕組みの理解	出席等記録 回数記録
	水泳	クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:自己の体力と各泳法の技能を考えた工夫 c:タイム計測 d:競泳ルールと泳ぎの理解	出席等記録 タイム計測
7								
9								
10	体育大会練習	体育大会準備 開会式、閉会式の練習、出場種目練習	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:隊形変更等、クラス行進 c:ラジオ体操第2、クラス行進 d:種目練習	出席等記録
11 12	ハンドボール	基本技術 パス・シュート ディフェンス 簡易ゲーム ゲーム	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:プレー選択、チーム協力 c:スキルテスト d:ゲームルール理解	出席等記録 スキルテスト
	サッカー	基本技術 パス・ドリブル シュート 簡易ゲーム ゲーム	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:プレー選択、チーム協力 c:スキルテスト d:ゲームルール理解	出席等記録 スキルテスト

1	持久走	30 分間走	○		○	a:参加意欲、取り組み態度	出席等記録
2		ファルトレク走 タイム計測				b:走行時間、距離に見合ったペース・走り方の選択 c:タイム計測 d:長距離走の走り方の理解 長距離走の目的の理解	タイム計測

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断
c:運動の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（女子）	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 保健体育」（第一学習社）						
副教材等	「アクティブスポーツ」（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己の能力に応じて体力の向上を図り、その過程において体験する運動の楽しさを学ぶこと。
また、チームスポーツを通じて協力、責任、リーダーシップ、対戦相手への敬意といった集団行動の資質を磨くこと。

2 学習の到達目標

生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を培う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・自己の体力、技能を向上させる積極的な姿勢を身につける ・円滑な集団での運動実施のために必要となる協力的態度を身につける	・個々に応じた体力や技能を高めるためのトレーニングや練習を選択する力を身につける ・ゲーム場面での適切なプレーの選択、自己の役割を判断する ・集団の中での発言、リーダーシップ	・各運動技能を身につける ・身につけた運動を速く、正確に、力強く発揮する ・ゲームの場面において身につけた運動を発揮する	・スポーツのルールや、運動を安全に実施する方法を理解する ・自己の体力や技能を高める方法を理解する
評 価 方 法	・出席の記録 ・積極的姿勢を記録 ・協力的姿勢を記録	・技能や記録を伸ばすための工夫を記録 ・練習方法の観察及び記録 ・ゲームパフォーマンス（プレーの選択、周囲への声かけ、作戦など）の記録	・スキルテストやタイム計測などの記録 ・ゲームパフォーマンス（得点など）の記録	・各種目での準備や片付けを観察及び記録 ・ゲームや記録測定を観察及び記録 ・準備運動、整理運動、補強運動の観察及び記録
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6	ラジオ体操	ラジオ体操第2	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:ラジオ体操1つ1つの動きの目的を考え、その目的に合った動きを選択して行う c:体操を正確に実施する d:体操の目的を理解	出席等記録 体操テスト
	陸上競技 (短距離)	ランニングフォーム アジリティ スタート技術 タイム測定 リレー	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:リレーでのリードするタイミングの判断 c:タイム計測 d:ランニングフォームの理解	出席等記録 タイム計測
	バレーボール	基本技術 レシーブ・トス スパイク・サーブ ルールの理解 ゲーム	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:プレーの選択 周囲への声かけ c:スキルテスト d:ゲームルール理解 ポジションの理解	出席等記録 スキルテスト
	体づくり運動	縄跳び (前後2重跳び)	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:独自の工夫 c:回数記録 d:仕組みの理解	出席等記録 回数記録
	水泳	クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:自己の体力と各泳法の技能を考えた工夫 c:タイム計測 d:競泳ルールと泳ぎの理解	出席等記録 タイム計測
7								
9								
10	体育大会練習	体育大会準備 開会式、閉会式の練習、出場種目練習	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:隊形変更等、クラス行進 c:ラジオ体操第2、クラス行進 d:種目練習	出席等記録
11 12	バスケットボール	基本技術 パス・ピボット ドリブル・シュート 簡易ゲーム ゲーム	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:プレー選択、チーム協力 c:スキルテスト d:ゲームルール理解	出席等記録 スキルテスト
	ダンス	基本技術 アイソレーション 課題ダンス	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度 b:リズムに合った動きの選択 リーダーシップ c:ダンス発表 d:技能の高め方の理解	出席等記録 ダンス発表

1	持久走	30 分間走	○	○	○	○	a:参加意欲、取り組み態度	出席等記録
2		ファルトレク走 タイム計測					b:走行時間、距離に見合ったペース・走り方の選択 c:タイム計測 d:長距離走の走り方の理解 長距離走の目的の理解	タイム計測

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断
c:運動の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 保健体育」(第一学習社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

本校の保健の授業では、教科書と担当者ごとのプリントを使用し授業を進める。
1 年次は「現代社会と健康」の単元を学習する。
健康の考え方から、健康の保持増進につながる生活習慣、ストレスへの対処と心身相関など、将来の豊かな社会生活に役立つ知識と習慣を身に付ける。

2 学習の到達目標

ヒトの身体の構造・仕組みについて知り、日常生活の様々な機会において自らの身体管理・健康管理などが行えるようになる。
現代社会における健康問題や、新しい時代の健康の考え方を学習し、今後の人生において自分自身とそれを取り巻く社会の健康の保持増進に貢献できる素地を養う。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代における健康問題を自らの問題と捉え、生涯にわたって適切な意思決定・行動選択ができるよう、授業に積極的に取り組む	健康的な生活を送るための適切な意思決定・行動選択ができるようになる	健康の保持増進、日常的な応急手当、感染症の予防、ストレスへの対処のための実践力を養う	生涯にわたって健康的な生活を送るために必要な知識と行動選択の仕方を理解する
評 価 方 法	プリント点検	授業のテーマを踏まえて、健康な生活を送るための自らの意思決定・行動選択をプリントに記入させる	試験実施	プリント点検 試験実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期①	現代社会と健康	健康の考え方	○	○		○	a:プリントへの板書、授業での取り組み b:適切な意思決定と行動選択 c:健康の保持増進のための実践力 d:現代における健康の考え方の理解	・出席等 ・プリント ・試験実施
前期②	現代社会と健康	生活習慣病とその予防 ・食事、運動、休養 ・喫煙、飲酒	○			○	a:プリントへの板書、授業での取り組み b:適切な生活習慣のための意思決定と行動選択 c:健康的な生活習慣の実践力 d:生活習慣病を予防するための食事、運動、休養の仕方を理解	・出席等 ・プリント ・試験実施
後期①	現代社会と健康	応急手当 ・日常的な応急手当 ・運搬法			○	○	a:プリントへの板書、授業での取り組み b:日常的な応急手当、運搬法を状況に応じて実施できる c:日常的な応急手当、運搬法を実施できる d:日常的な応急手当の仕方、運搬法を理解	・出席等 ・プリント ・実技評価 ・試験実施
後期②	現代社会と健康	感染症 性感染症の予防	○			○	a:プリントへの板書、授業での取り組み b:感染症と性感染症の予防のための意思決定と行動選択 c:感染症と性感染症の予防に向けた行動の実践力 d:感染症の感染経路を理解し、その予防法を知る	・出席等 ・プリント ・試験実施
後期③	現代社会と健康	欲求と適応機制 心身相関とストレス 自己実現	○			○	a:プリントへの板書、授業での取り組み b:ストレスへの対処と自己実現に向けた意思決定と行動選択 c:欲求をコントロールしたり、ストレスをマネジメントできる d:人間の欲求と、ストレスからくる心身症についての理解	・出席等 ・プリント ・試験実施

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断
 c:運動の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「MOUS A 1」 (教育芸術社出版)						
副教材等	「ほらね、」 (カワイ出版)、ワークシート等のプリント						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野を2年間通して学習する。
- ・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価する。
- ・音楽の授業で大切なことは、知識や技能を習得、音楽的な感受や知覚によるものを自らにインプットし、それらについて思考や判断を重ね、他者との協働でさらに深め発展させ、最終的に表現としてアウトプットすることである。それは人間の品位や人格、物事に対する理解力や創造性に結びついている、言わば人間として持つべき基礎的教養を身につけることに繋がる。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4 学習の活動

学 期	題 材 名	学 習 内 容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	豊かな声で歌いあげよう！	【歌唱】 校歌	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーの美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 わらべうた ほらね、 (混声4部)	○	○	○		a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 クラッピングミュージック	○		○		a: アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c: リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 クラッピングアンサンブルをつくらう1		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歴史的名作を味わおう	【鑑賞】 映画 レ・ミゼラブル 1	○			○	a: 歴史的背景や情景、登場人物の性格を想像し、それらと歌唱表現やオーケストラとの関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、総合芸術としてのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート

後期	日本の心を感じ取ろう	【器楽】 箏曲	○	○	○	a: 曲想と文化的・歴史的背景に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 この道	○	○	○	a: 「この道」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 「この道」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 カーロミーオベン (斉唱・原語)	○	○	○	a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歴史的名作を味わおう	【鑑賞】 映画 レ・ミゼラブル 2	○			○ a: 歴史的背景や情景、登場人物の性格を想像し、それらと歌唱表現やオーケストラとの関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、総合芸術としてのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高校生の美術 1」（日本文教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」など、美術はいろんな形でわたしたちの周りにあります。こういったものを、表現としてとらえ、日常の中で興味・関心を持って見るようにしましょう。発想や表現方法のたくさん入った引き出しを持つことが、みんなの美術の力になります。

美術は造形による表現です。「表現したいもの」とそれを表す「形」が必要です。自分なりの感じ方や見方、表現を自分で取り出せるよう、自らへの理解を深めて行きましょう。そして、表現するために効果的な造形の技能、基礎知識への理解も深めて行きましょう。授業では、ふたつのバランスを取りながら、頭で考えすぎず、手を動かして、感じながら、取り組みましょう。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	学習活動や制作の様子 ワークシート 作品	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品 作品	鑑賞の様子 鑑賞レポート

個々の作品の評価点を中心であるが、出席、作品制作状況、レポート等の状況も加味して、上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術とは何か	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 授業時の心構え 教科書を鑑賞し「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー 生徒相互がモデルになってクロッキーをする。人物の骨格、重心、バランス、動勢などに注意する。毎授業開始時に行う。	○				a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、画面への入れ方などを工夫している。 c: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	色彩構成1 四季—春夏秋冬—	【表現】【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 色彩効果を生かした平面構成を制作する。テーマ「四季」 ・ケント紙にデザインガッシュで着色する ・四季それぞれのイメージを色彩の配色に置き換え、構図を工夫する ・色彩調和 ・対照と同化	○	○	○		a: 四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら、美しさや楽しさを感じる構成に意欲的に取り組んでいる。 b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 丁寧に色塗りができ、条件を基に表現している。	制作の様子 作品
	色彩構成2 暮らしの中の文様	【表現】【デザイン】 ・色の統一性 2色パレットで連続模様をつくる テーマ「生活を彩る模様」 ・ケント紙に箱の展開図をかき、組み立てて、表面に連続模様を着色 ・有彩色2色+白の混色からできる色のみ使用 ・生活を楽しくし、美しく彩る配色を考える		○	○		a: 生活環境を心豊かにする美しさを考え、デザインの目的や条件などを考えて表現することに主体的に取り組んでいる。 b: 生活の中で楽しく、美しく感じられる配色ができる。 c: 色彩、材料や用具を生かす技能を働かせ、丁寧に作品をつくる。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	鑑賞	【鑑賞】 ・展覧会、美術館に行き、感想をレポートにまとめる				○	d: 美術の多様な表現の特質や様式、主題や表現方法について理解を深め、自己の意見を述べるができる。	鑑賞レポート

平成31年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書 I」 （教育図書）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

芸術科書道では小中学校の書写から発展して、さまざまな用具用材や技法による文字表現の多様性について学習します。学習内容は書写でも学習した楷書・行書に加え、草書・隸書・篆書、更には篆刻（印の制作）や創作作品の制作といった発展的な課題まで広範に渡りますが、主として漢字の書を扱います。筆墨硯紙を用い、伝統的な表現をふまえた上で自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。古典を通して書のさまざまな美について学び、書風を理解し制作することができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:書への関心・意欲・ 態度	b:書表現の構想と工 夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を活かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月	書写から書道へ	書の美について考える ・国語科書写と芸術科書道 ・書体の変遷 藏法 と 露法	○	○			a: 国語科書写と芸術科書道の関係を理解し意欲的に取り組もうとしている。 b: 芸術科書道の学習における意義を理解し表現を工夫する。 c: 姿勢・執筆法の基本を理解し工夫することができる。 d: 用具用材の基本的な扱いを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6月 7月 8月	漢字の書 篆刻	漢字の書 篆書 篆刻 ・印稿制作 ・白文印制作（6分）		○	○		a: 文字の成立に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b: 篆書における分間布白・間架結構を理解し表現する。 c: 筆の弾力を最大限に生かし、運筆の方法により筆画の表情が出ることを理解し応用する。 d: 印章の成立について理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
9月 10月	漢字の書	行書 草書 隸書		○	○		a: 筆の機能を生かし、各書体を明確に書き分けることができる。 b: 各古典が成立した時代背景や表現技法を理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11月 12月	漢字仮名交じりの書 表具	漢字仮名交じりの書 ・線質 ・紙面構成 表具			○	○	a: 創作活動に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。 b: 自らの感性に密着した書表現を目指し、実験的なアプローチを経て表現を工夫することができる。 c: 線質、字形、紙面構成など創作における効果的な表現の技能を身につけることができる。 d: さまざまな表現技法により表出されるイメージの違いについて理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

1月 2月 3月	仮名	仮名の書		○		○	a:仮名の成立に関心を持ち、新たな書表現に主体的に取り組もうとしている。 b:仮名の基本用筆を理解し、適切に用いることができる。 c:筆の弾力を生かした流動的な表現をすることができる。 d:仮名文字の成立、特性について理解することができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
----------------	----	------	--	---	--	---	---	---

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	家庭総合 自立 共生 創造 (東京書籍)						
副教材等	2019 生活学Navi (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

家庭科は、自分を大切にする力 (自立)、他者と共に生きる力 (共生) を互いに育てあう教科です。これから社会生活を送る上で必要な知識技術を、自ら生活する者の立場で学び、自分らしい生活を創造していく力を身につけましょう。

- ・自分の人生や生活上の課題を、ワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけると共に、考察をまとめ、発信できるようにしましょう。また、他者の考察を知り、多様な考え方を学び、尊重すると共に、自分の考えを深めましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけ、周囲の人を助け、リーダーとなることができる能力を身につけます。
- ・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を目指しましょう。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子供や高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 調理計画、製作計画、 発表 自己評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 調理計画、製作計画、 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 製作作品、写真 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 調理計画、製作計画、 発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 4 5 6月	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 ○固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ○家族形態やライフスタイルの多様化が進んだ要因について、社会の変化と関わらせて考える。 ＊家族形態の変化の要因を考える	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生涯発達の視点に立ち、青年期の課題について具体的に考え、現在の社会状況を知り、個人として、また家族や社会の一員として、今後自分がどう生きるかと関連させて考えようとしている。 b:自分を見つめ、自分の人生や進路について考えを深め、近年の社会状況から家族がどのように変化してきたかを知り、具体的にまとめ、発表している。 c:家族形態の変遷や家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 d:社会や家族の変化を知り、自分らしく生きるために、目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。	授業観察 プリント ワークシート レポート 発表 定期考査
7月	子供と共に育つ	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。	○			○	a:母体の健康と子供の誕生、子供の心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。 d:妊娠や出産に関わる知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査

7 8 月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 *自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 生活上の課題を見出し、その解決を目指して科学的に探究し、表現している。 c: 計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
9 月	子供と共に育つ	○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わり の大切さを学ぶ。 ○遊び、基本的生活習慣の 形成、食事、健康管理につ いて学ぶ。 ○愛着の形成と親としての成 長を理解する。 ○子供を取りまく社会変化の 現状について理解し、考え る。 ○児童福祉の理念を理解し、 子育て支援の現状を学ぶ。 *地域や社会の取り組みを 考える *ドラマの続きを考える	○	○	○	○	a: 子供の発達や生活、子供を取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割、課題解決に向けて考えようとしている。 b: 子供を取り巻く環境の変化と社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。 c: 子供の生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集し、調査することができる d: 生命の尊さ、子どもの心身の発達や生活と環境とのかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート レポート 発表 定期考査
		前期末考査		○	○	○		定期考査

後期 10月	高齢社会を生きる	○ 高齢社会の現状と課題を理解する。 ○ 高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○ 高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○ 身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○ 高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	○	○		○	a: 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心をもち、自分とつながった存在である高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。 b: 高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、まとめたり、発表したりしている。 c: 地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり、調査したりすることができる。 d: 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活、支援する場合の心構えについて理解している。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査
11月	共に生き、共に支える	○ 一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。 ○ 多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。 ○ 社会保障制度の理念と内容を学ぶ。	○	○	○	○	a: 共生社会に関心を持つとともに、社会の一員としての自覚をもち、ボランティア活動や支え合う活動など、主体的に行動しようとしている。 b: 社会制度の理念と内容やボランティアのあり方について考えを深め、社会の一員として、共生社会を実現するために何ができるか考え、工夫している。 c: 共生社会の実現に向けて、自分のできることは何か、情報を収集・整理したり、実践にいかすなど、支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d: 社会福祉の基本的な理念や内容、共生社会の重要性について理解し、共生社会の実現に向けて、必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査

12月	経済生活を営む	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。	○	○		○	a: 生涯を見通した経済計画、消費生活における課題、消費者の権利と責任、環境保全に対する取り組みについて関心をもち、自立した消費者として行動し、持続可能な社会に向けた消費行動をしようとしている。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査
		○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。	○		○	○	b: 多発する消費者問題について、その原因と対策について具体的な事例をふまえて主体的に考え、適切に判断することができる。	
		○国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。	○			○		
		○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。	○	○	○	○	・消費行動と環境とのかかわりについて、自身の生活と関連させて課題を見だし、生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を築けばよいかを考え、工夫している。	
		○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。	○	○		○		
		○消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。	○			○	c: 身近な生活の中から、環境にかかわる生活のしかたを点検し、生活様式の見直しや環境に調和した生活など、自分の消費行動を検証することができる。	
		○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	○	○	○	○	d: 生涯を見通した経済計画の重要性、家庭経済と国民経済のかかわり、家計の管理、消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。	
							・環境問題に配慮したグリーンコンシューマーとなることが求められていることを理解し、家庭生活と資源・環境とのかかわりについて、自立した消費者になるための知識を身につけている。	

平成 31 年度 理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅰ	単位数	6 単位	年次	1 年次
使用教科書	改訂版「詳説 数学Ⅰ」「詳説 数学A」「詳説 数学Ⅱ」(啓林館)						
副教材等	改訂版チャート式「基礎からの数学Ⅰ+A」「基礎からの数学Ⅱ+B」(数研出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業では知識の蓄積だけでなく、例題および問題演習を積極的に行うことにより、それらの知識を活用する力と論理的に表現する力を育成していきます。
- ・「予習」→「授業」→「復習」のサイクルをしっかりと身に付けよう。
- ・問題演習の扱いについては担当者の指示に従ってください。
- ・家庭学習で既習事項の定着をしっかりとってください。

2 学習の到達目標

数学Ⅰ分野の「数と式」「2次関数」「図形と計量」「データの分析」、数学Ⅱ分野の「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数と対数関数」「三角関数」について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。それらを的確に活用する能力を身につけることを目標とし、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようになる。

また、数学A分野の「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。それらを的確に活用する能力を身につけることを目標とし、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようになる。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析、図形の性質、場合の数と確率、整数の性質、いろいろな式、図形と方程式および指数関数と対数関数、三角関数における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析、図形の性質、場合の数と確率、整数の性質、いろいろな式、図形と方程式および指数関数と対数関数、三角関数における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析、図形の性質、場合の数と確率、整数の性質、いろいろな式、図形と方程式および指数関数と対数関数、三角関数において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析、図形の性質、場合の数と確率、整数の性質、いろいろな式、図形と方程式および指数関数と対数関数、三角関数における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評 価 方 法	プリント ノート 課題等提出物 観察等	プリント ノート 課題等提出物 定期考査 宿題考査 観察等	プリント ノート 課題等提出物 定期考査 宿題考査 観察等	プリント ノート 課題等提出物 定期考査 宿題考査 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	数と式	整式の加法・減法・乗法			○	○	a: 式の計算や不等式などに関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b: 式の展開や因数分解、数の体系、不等式を考察し、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 式の展開や因数分解ができたり、不等式の解を求めることができる。 d: 式の展開と因数分解、数の体系、不等式の性質について理解し、知識を身につけている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		因数分解	○	○	○	○		
		実数	○	○	○	○		
		1次不等式	○	○	○	○		
前期	図形の性質	三角形の辺の比, 五心			○	○	a: 図形の性質に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を図形の性質を用いて考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を図形の性質を用いて表現・処理・証明する技能を身につけている。 d: 図形の性質に関する基本的な概念・定理を理解し、知識を身につけている	定期考査 提出物 授業中の態度等
		チェバの定理, メネラウスの定理		○		○		
		三角形の辺と角	○	○				
		円に内接する四角形		○	○	○		
		円と直線, 2つの円の位置関係	○	○				
		作図	○		○	○		
		空間図形	○	○				
前期	二次関数	関数とグラフ	○	○			a: 2次関数に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を2次関数を用いて考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を2次関数を用いて表現・処理する技能を身につけて	定期考査 提出物 授業中の態度等
		2次関数のグラフとその移動		○	○	○		
		2次関数の最大・最小と決定		○	○	○		
		2次方程式	○	○	○			
		2次不等式	○	○		○		
		グラフと2次不等式	○	○				

		2 次関数の関連発展問題		○	○		いる。 d: 2 次関数に関する基本的な概念を理解し, 知識を身につけている。	
前期	集合と命題	集合	○			○	a: 集合と論証に関心をもつとともにその有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: いろいろな集合や命題を考察し, その過程を振り返ったりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 集合に関する問題を解いたり, 命題を論理的に扱うことができる d: 集合と論証に関する基本的な概念を理解し, 知識を身につけている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		命題と条件		○	○			
		命題と証明	○	○		○		
前期	場合の数と確率	集合の要素の個数			○	○	a: 順列・組合せと確率に関心をもつとともに, それらの有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を順列・組合せや確率を用いて考察し表現したり, その過程を振り返ったりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を順列・組合せや確率を用いて表現・処理する技能を身につけている。 d: 順列・組合せや確率に関する基本的な概念を理解し, 知識を身につけている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		場合の数	○		○			
		順列		○	○	○		
		円順列・重複順列		○	○	○		
		組合せ	○	○	○			
		事象と確率	○		○	○		
		確率の基本性質			○	○		
		独立な試行の確率		○	○			
		条件付き確率		○	○	○		
前期	図形と計量	三角比の基本	○			○	a: 三角比に関心をもつとともに, それらの有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を三角比を用いて考察し表現したり, その過程を振り返ったりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を三角比を用いて表	定期考査 提出物 授業中の態度等
		三角比の拡張	○	○	○			
		正弦定理と余弦定理		○	○			

		三角比と図形の計量	○		○	○	現・処理する技能を身につけている。 d: 三角比に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	
後期	整数の性質	約数と倍数, 最大公約数と最小公倍数	○		○		a: 整数の性質に関心をもつとともに, それらの有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: 整数の性質を用いて事象を考察し表現したり, その過程を振り返ったりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 整数の性質を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 d: 整数の性質に関する基本的な概念を理解し, 知識を身につけている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		整数の割り算と商および余り			○	○		
		合同式	○	○	○	○		
		ユークリッドの互除法と1次不定方程式	○		○			
		方程式の整数解		○	○			
		分数と小数, n 進法	○			○		
後期	指数関数と対数関数	指数の拡張	○			○	a: 指数の拡張や指数関数, 対数関数に関心をもつとともに, 指数や対数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を指数関数や対数関数を用いて考察し表現したり, その過程を振り返ったりすることを通して, 関数的な見方や考え方を身につけている。 c: 指数や対数の値を求めたり, 指数関数や対数関数を用いて数量の変化を表現したりすることができる。 d: 指数や対数および指数関数や対数関数の基本的な概念, 性質などを理解し, 知識を身につけている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		指数関数			○	○		
		対数とその性質	○		○	○		
		対数関数			○	○		
		常用対数		○	○			
後期	いろいろな式	3次式の展開と因数分解, 二項定理	○		○	○	a: 整式や方程式, 式と証明, 複素数に関心をもつとともに, それらの有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		整式の割り算			○	○		
		分数式とその計算			○	○		
		恒等式		○	○	○		

		等式の証明		○	○	○	b: 整式や方程式, 式と証明を用いて事象を考察し表現したり, その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 整式や方程式, 式と証明, 2次方程式の判別式, 解と係数の関係等を用いて, 方程式の解を求めたり式を証明したりすることができる。 d: 整式や方程式, 式と証明における基本的な概念を理解し, 知識を身につけている。	
		不等式の証明		○	○	○		
		複素数	○	○		○		
		2次方程式の解と判別式		○	○	○		
		解と係数の関係, 解の存在範囲		○	○	○		
		剰余の定理と因数定理	○	○	○	○		
		高次方程式		○	○	○		
後期	データの分析	データの代表値と散らばり	○			○	a: データの分析に関心をもつとともに, いろいろな手法を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: データの分布の特徴を考察し表現したり, その過程を振り返ったりすることなどを通して, 数学的な見方や考え方を身につけている。 c: データの分布の特徴をいろいろな方法で表現・処理する技能を身につけている。 d: データの分析に関する基本的な概念を理解し, 知識を身につけている。	定期考査 提出物 授業中の態度等
		分散と標準偏差, 相関係数	○	○	○	○		
後期	図形と方程式	直線上の点, 平面上の点	○		○	○	a: 図形を数や式で表すことに関心をもつとともに, それらの有用性を認識し, 事象の考察に活用しようとしている。 b: 図形を数や式を用いて考察し表現したり, 思考の過程を振り返ったりすることなどを通して, 図形に関する数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 図形を方程式を用いて表現・処理したり不等式を満たす領域を図示したりすることができる。 d: 図形と方程式, 不等式の間関係を理解し, 基礎的な知識を身	定期考査 提出物 授業中の態度等
		直線の方程式, 2直線の関係	○	○				
		線対称, 点と直線の距離	○		○			
		円の方程式			○	○		
		円と直線		○	○			
		2つの円	○	○		○		
		軌跡と方程式	○	○	○	○		

		不等式の表す領域		○	○		につけている。	
後期	三角関数	一般角と弧度法	○	○		○	a: 三角関数に関心をもち、三角関数の有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を三角関数を用いて考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなど、関数的な見方や考え方を身につけている。 c: 三角関数の値の変化を調べて表現したり、その値を求めたりすることができる。 d: 三角関数とそのグラフ、関数の値の変化について基本的な事柄を理解し、知識を身につけている。	
		三角関数	○		○			
		三角関数の性質, グラフ	○	○		○		
		三角関数の応用		○	○	○		
		加法定理	○	○	○			
		加法定理の応用		○	○	○		
		三角関数の和と積の公式			○	○		
		三角関数の合成	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 理数科

教科	理数	科目	理数物理	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高等学校「改訂版 物理基礎」 (数研出版)						
副教材等	三訂版 リードα 物理基礎・物理 (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・予習よりも復習に重点をおいて学習してください。
- ・次の授業までに、前回の授業を復習し、疑問点は質問するなりして解消してください。
- ・授業用のノートを用意してください。
- ・問題集は、解ける問題は日頃からコツコツ解いておいてください。また、問題集用のノートまたは、ルーズリーフを作っておくことを薦めます。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、思考実験などを行い、それらの過程や結果を的確に整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察, 問答	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 (前半)	序章	物理量の測定と扱い方 - 物理量, 数値, 数式のそれぞれの表し方を理解する。 - 誤差と有効数字を理解し, 測定値の計算に取り組む。		○		○	a: 物理の基礎となる内容について, 意欲的に学習しようとする。 b: 誤差が生じる原因を理解し, 有効数字の桁数を考えることができる。 c: 教科書の長さを複数名で測定し, 誤差が生じることを確認する。 d: 有効数字の意味を理解し, 測定値の計算ができる。	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果
	力と運動	物体の運動 - 物体の変位や速度などの表し方について, 直線運動を中心に理解する。直線上を運動している物体の合成速度や相対速度についても扱う。 - 直線運動を中心に物体の加速度を理解する。 - 直線運動を拡張した平面の運動における位置や変位, 速度, 速度の合成・分解, 相対速度, 加速度について理解する。 - 自由落下や鉛直投げ上げの内容を確認し, 水平投射や斜方投射のそれぞれの運動について理解する。 - 物体が空中を落下するときのようすを調べ, 空気抵抗の特徴について理解する。 力のはたらきとつりあい - 物体にさまざまな力のはたらくことを理解する。 - 物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱う。 - 作用・反作用を扱い, つりあう2力との違いを理解する。 - 水圧と浮力の関係について理解する。	○	○	○	○	a: 変位・速度・加速度の関係について, 科学的に理解する意欲をもって学習に取り組む。 物体が落下するときのようすなどに関心を持ち, それらの現象を物理的に考えようとする。 力のはたらきを物理的にとらえようとする。 b: 物体の運動を表す変位や速度, 加速度などを, その公式から考えることができ, ベクトルを用いても理解することができる。 落下する物体の速度を分解して, 定量的にそれぞれの運動を考えることができる。 物体にはたらく力を, ベクトルを用いて合成, 分解することができる。 c: 速度と時間の関係から加速度を求め, 自動車の各瞬間における加速度を調べる。 d: 物体の運動に関し, 変位や速度, 加速度などについての基本的な公式を理解する。 落下する物体の運動は, 鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解する。 力の合成・分解, つりあいを理解する。	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 (後半)	力と運動	運動の法則 ・運動の3法則について観察や実験を通して理解する。 ・運動方程式の立て方について学習し、斜面上の運動、連結した物体の運動など、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。	○	○	○	○	a: 物体の運動に興味を示し、その法則性を物理的に理解しようとする。 b: 物体にはたらくすべての力を求め、物体ごとに運動方程式を考える。 c: おもりをつるした糸の引き方によって、おもりの慣性について調べる。 d: いろいろな条件のもとで、物体のはたらく力を求め、運動方程式を立てることができる。 摩擦力の大きさを計算で求められる。	学習状況の観察、問答、定期考査の結果
	エネルギー	仕事と力学的エネルギー ・仕事、仕事の原理、仕事率を学習し、物理における「仕事」について理解する。 ・運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギー、保存力を学習し、運動エネルギーや位置エネルギーの変化について、式を用いて理解する。 ・力学的エネルギーの保存について理解する。	○	○	○	○	a: 「仕事」に関心をもち、仕事を物理量として考えようとする。 b: 仕事とエネルギーの変化に、どのような関係があるか考えることができる。 物体の力学的エネルギーと、保存力以外の力がする仕事との関係を考える。 c: 力と移動距離の関係を実験を通して確認し、道具を用いた場合でも、仕事の量は変わらないことを理解する。 d: 重力のみがはたらく場合、運動エネルギーと位置エネルギーがどのように変化するか理解する。 弾性エネルギーの公式を理解する。 動摩擦力がはたらくとき、動摩擦力がした仕事の量だけ力学的エネルギーが減少することを理解する。	学習状況の観察、問答、定期考査の結果
*	*	* * * * * * *	*	*	*	*	* * * * * * *	* * *

学 期	単 元 名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後 期 (前 半)	エ ネ ル ギ ー	熱とエネルギー - 熱運動, セルシウス温度, 絶対温度を学習し, 温度について理解する。 - 熱と熱量を学習した後, 熱平衡, 潜熱, 比熱, 熱容量, 熱量の保存について理解する。 - 熱と仕事 that 同等であることを学習し, 内部エネルギー, 熱力学の第 1 法則を理解する。 - さまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち, エネルギーの保存について理解する。 - 熱機関と熱効率を学習し, 可逆変化と不可逆変化について理解する。	○	○	○	○	a: 日常よく使われる「温度」に関心をもち, 温度と熱との関係を物理的に考える。 b: 温度の異なる物体が接すると熱が移動すること, 物体によって温まり方が異なることなど, 熱の移動に関することを考えることができる。 熱機関を学習し, 熱のすべてを仕事に利用できないことを理解する。 c: 外部と熱のやり取りがないとき, 熱量の保存から物質の比熱を測定できることを理解する。 d: 熱力学の第 1 法則より, 物体の内部エネルギーの変化と, 物体が外部から受ける熱, 仕事との関係を理解する。	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果
	波 動	波の性質 - 正弦波と波, 振幅, 波長, 周期, 振動数, 媒質の振動など, 波の要素について学習する。 - 横波, 縦波の特徴や, 波のエネルギーについて理解する。 - 重ねあわせの原理, 波の独立性, 定常波, 波の反射, 固定端反射, 自由端反射について学習する。 - 正弦波の式, 位相について理解する。 - 水面波の干渉を学習し, ホイヘンスの原理, 平面波の反射・屈折, 波の回折など, 波の伝わり方について理解する。	○	○	○	○	a: 身近に見られる波に興味を示し, 波が移動するとき何が伝わっているか考える。 b: 横波, 縦波を学習し, 波の特徴をイメージすることができる。 波が重なりあうときのようなすをイメージすることができる。 波の反射を学習し, 固定端と自由端についての違いを理解する。 c: 水波投影装置を用いて, 波の干渉のようすを観察し, 干渉条件を確認する。 d: 波の速さや振動数, 波長など, 基本的な波に関する物理量を理解する。 正弦波の式と位相を定量的に理解する。 平面波の反射, 屈折における各物理量を計算し, 回折のしくみを理解する。	学習状況の観察, 問答, 定期考査の結果

学校番号	3016
------	------

平成 31 年度 理数科

教科	理数	科目	理数化学	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	化学基礎 (啓林館)						
副教材等	自主編集プリント集, ニューステージ化学図表 (浜島書店), セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

学習指導要領に定められた化学基礎を中心に、一部は発展的な内容も学習するが、まずは授業で扱う自主編集プリント集や教科書の内容をしっかり理解して欲しい。また学習の際には、化学図表などを用いて、物質の色や性質について調べ、興味を持って欲しい。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に観察、実験などを行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する能力を身につけている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	普通の授業態度 宿題提出などの提出物 実験・観察の取り組み	実験 レポート 定期考査	実験 レポート	小テスト 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期①	物質の構成	純物質と混合物			○		a:物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 b:物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質を調べることにより原理・法則を見出し、総合的に判断する。 c:物質の分離・成分元素の確認・物質の性質観察などの基本的な実験操作を習得する。	授業観察 実験レポート 問題演習 小テスト・定期考査
		化合物と元素			○			
		物質の三態	○					
		原子の構造		○				
		元素の周期律と元素の性質		○				
前期②		イオン	○				d:物質の探究をするために物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質に関する基本的な概念や、原理・法則などの知識が必要であることを理解する。	授業観察 実験レポート 問題演習 小テスト・定期考査
		イオン結合				○		
		共有結合				○		
		配位結合				○		
		分子間の結合				○		
		金属結合				○		
		化学結合と物質の分類・用途			○			
前期③	物質の変化	原子量・分子量・式量				○	a:物質質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応に関する事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。 b:物質質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応に関する事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを通じて、事実を分析的・総合的に捉え、実証的、論理的に考察して問題を解決し、化学的に判断して得られる結果を表現できる。 c:観察、実験の技能を習得すると共に、物質質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応に関する事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。 d:観察、実験、調査などを通して「物質の構成」に関連した学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。	授業観察 実験レポート 問題演習 小テスト・定期考査
		物質質量		○				
		溶液の濃度				○		
		化学反応式と量的関係			○			
後期①		酸と塩基	○				授業観察 実験レポート 問題演習 小テスト・定期考査	
		水素イオン濃度とpH				○		
		中和反応と塩の生成		○				
		中和滴定			○			
後期②		酸化と還元	○				授業観察 実験レポート 問題演習 小テスト・定期考査	
		酸化剤と還元剤			○			
		金属の酸化還元反応				○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

平成 31 年度 理数科

教科	理数	科目	理数生物	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「生物基礎」 (東京出版)						
副教材等	リードα 生物基礎＋生物 (数研出版) サイエンスビュー生物総合資料 (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。
- ・単に用語を暗記するのではなく、自然現象のメカニズムを理解することが重要である。
- ・予習よりも、復習に重点をおいて学習する。
- ・学習した単元の問題演習を行い、理解を深める。

2 学習の到達目標

- 1 生物や生物現象を広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。
- 2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。
- 3 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期1	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性	○		○		a:生物の多様性と共通性、遺伝現象とDNAに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c:「生物と遺伝子」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		細胞とエネルギー				○		
		遺伝現象とDNA	○					
前期2		遺伝情報の分配		○				
		遺伝情報とタンパク質の合成				○		
		生物と遺伝子に関する探究活動			○			
前期3	生物の体内環境	体液とその働き	○				a:体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c:「生物の体内環境の維持」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		生体防御		○				
後期1		体内環境の維持のしくみ				○		
		生物の体内環境の維持に関する探究活動			○			
後期2	生物の多様性と生態系	気候とバイオーム	○		○		a:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		植生と遷移				○		
		生態系と物質循環			○			
		生態系のバランス	○					
		生物の多様性と生態系に関する探究活動		○				

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点や重み付けを行う観点について○を付けている。

平成 31 年度 英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語	5	第 1 学年	大修館「GENIUS English communication I・II Revised」、桐原書店「FACTBOOK English Grammar [Advanced]」、準拠ワークブック、数研出版「必携英単語 LEAP」

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

総合英語は、英語 Expression、英語 Communication、Oral Communication の 3 種類の授業で構成されています。授業では「読む」「聞く」だけでなく、理解した事柄についてその概要や、自分の考えを「話す」「書く」活動を、ペア・ワークやグループ・ワークで行うことが多くなります。英語でコミュニケーションしようとする意欲を持ち、多様な言語活動に意欲的に取り組んで下さい。

音読や口頭での表現活動もたくさん行います。音読は授業で行うだけではなく、自宅でも十分に練習するようにして下さい。音読練習によって、語彙・文法・リスニングの力が大きく伸びます。

日ごろから英語で考える習慣を身につけましょう。見た、聞いた、感じたことについて「これは英語でどう表現するのか」と問いかけ、調べ、実際に使う事を習慣化してみましょう。このプロセスを経ることで、「使える英語」としての表現が増えていきます。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の 4 技能の到達目標）

【第 1 学年】履修科目：「総合英語」（5 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
- 身近なトピックに関して、わずかな時間の準備で、1 分程度のスピーチができる。その際には具体的な理由を添えて自分の意見を述べることができる。 - 情報や考えなどについて互いに質問したり、質問に答えたりできる。	総合英語 ・スピーチ ・会話テスト ・プレゼンテーション	- 段落の構成を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。 - 参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。	総合英語 ・定期考査 ・パラグラフライティング	- 自然な速さで話されるスピーチや会話（3～5 分）を聞いて、ポイントを確かみながら内容を理解することができる。 - 一部英語字幕の助けを借りて、自然な速さで標準的な発音で話されるテレビ番組や映画の母語話者どうしの会話の要点を理解することができる。	総合英語 ・リスニングテスト ・定期考査	- まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 - 難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。	総合英語 ・定期考査 ・X-reading

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Com I Lesson 1 (14 時間)	インターネットで広まった『もし地球が100 人の村だったら』を改編した文章を読み、人類が直面する教育格差、富の偏在、環境破壊などについて理解を深め、これらの問題にいかに対応すべきか考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		地球が抱える問題に関心を持ち、ペア・ワークやグループ・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べる。	ワークシートを利用して、それぞれのスピーカーの話す内容をメモに取り、まとめる。	問題に関心を持ち、ペア・ワークやグループ・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べようとする。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		地球が抱える問題についての説明を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	地球が抱える問題についての説明を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
Com I Lesson 2 (14 時間)	風呂敷の由来や歴史を知り、風呂敷が相手への思いやりを伝えるものであることや、環境保護に役立つものであることを学び、日本文化についての理解を深める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		風呂敷や日本文化に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べようとする。	風呂敷に関して、自分の経験・感想などをペアで話し合う。	風呂敷や日本文化に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べようとしている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		風呂敷や日本文化に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	風呂敷や日本文化に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		to 不定詞の形・意味・用法および it の用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	to 不定詞の形・意味・用法および it の用法を理解できる。	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		風呂敷や日本文化に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べようとする。	風呂敷に関して、自分の経験・感想などをペアで話し合う。	風呂敷や日本文化に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べようとしている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		風呂敷や日本文化に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	風呂敷や日本文化に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係代名詞、助動詞、受動態の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	関係代名詞、助動詞、受動態の形・意味・用法を理解できる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Com I Lesson 3 (14 時間)	パキスタンで「女性が教育を受ける権利」を訴え、イスラム武装勢力に銃撃されながらも屈せずに活動を続ける16歳の少女の実話から、社会を変えようと行動した十代の若者の勇氣と行動力について学ぶと同時に、教育の重要性について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		16歳の少女の行動に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べる。	ワークシートを利用して、Malala について知っていることをペアで述べ合う。	16歳の少女の行動に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べるができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。また、グループでプレゼンテーション発表を行う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		命をかけて教育の重要性を訴え続ける少女に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	命をかけて教育の重要性を訴え続ける少女に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		現在完了進行形、過去完了形、動名詞(基本的な用法)の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	現在完了進行形、過去完了形、動名詞(基本的な用法)の形・意味・用法を理解できる。	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Com I Lesson 4 (14 時間)	ボルネオの自然保護のためには、地域の人々がよりよい生活を送るように改善しなければならない。環境破壊の問題を多角的に考え、理解を深める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ボルネオの自然保護に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べる。	教科書の写真を見て、自分の印象や感想などをペアで話し合う。	ボルネオの自然保護に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べるができる。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		ボルネオの自然保護に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	ボルネオの自然保護に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		分詞、比較の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	分詞、比較の形・意味・用法を理解できる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Com I Lesson 5 (14 時間)	レモネードを 売ったお金を 医師に寄付す ることによっ て、病気に立 ち向かった少 女の実話をも とに、命の尊 さ、人生の意 味、ボランテ ィアの大切さ を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		病気に立ち向かった少女の話に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べる。	関連した動画を見て、感じたことをペアで述べ合う。	病気に立ち向かった少女の話に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べるができる。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。また、グループでプレゼンテーション発表を行う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		病気に立ち向かった少女の話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	病気に立ち向かった少女の話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		原形不定詞、SVO+if 節/wh-節の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	原形不定詞、SVO+if 節/wh-節の形・意味・用法を理解できる。	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Com I Lesson 6 (14 時間)	意志力は、人 間の感情や欲 求をコントロ ールし、生き 方を改善する ために重要な 能力である。 意志力を高め る鍵となる睡 眠に焦点を当 て、人間の脳 や心理との関 係について考 える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		意志力に大きな影響を与える睡眠に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べる。	ワークシートを利用して、それぞれのスピーカーの話す内容をメモに取り、まとめる。	意志力に大きな影響を与える睡眠に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べることができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。また、グループでプレゼンテーション発表を行う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		意志力に大きな影響を与える睡眠に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	意志力に大きな影響を与える睡眠に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		受動態[助動詞+ be + 過去分詞, be 動詞+ being + 過去分詞, have(has) + been + 過去分詞], 関係副詞, 助動詞+ have + 過去分詞の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	受動態, 関係副詞, 助動詞+ have + 過去分詞の形・意味・用法を理解できる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Com I Lesson 8 (14 時間)	水の惑星と呼ばれる地球が現在水不足の危機に瀕していることを知り、それを防ぐ方策および水不足解消のための科学技術について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		水不足とその対策に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べる。	関連動画を見て、ワークシートを使いながら、ペアで話し合う。	水不足とその対策に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べるができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		水不足とその対策に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	水不足とその対策に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
Com I Lesson 9 (14 時間)	コーヒーを中心にフェアトレードについて理解し、より公平・公正な貿易を行うにはどのような取り組みが必要なのかについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		フェアトレードに関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べる。	コーヒーについて、自分の経験や感想などをペアで話し合う。	フェアトレードに関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べることができる。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。また、グループでプレゼンテーション発表を行う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		フェアトレードに関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	フェアトレードに関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法過去、関係代名詞の非制限用法、seem+to 不定詞の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	仮定法過去、関係代名詞の非制限用法、seem+to 不定詞の形・意味・用法を理解できる。	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		フェアトレードに関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べる。	コーヒーについて、自分の経験や感想などをペアで話し合う。	フェアトレードに関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べることができる。	ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。また、グループでプレゼンテーション発表を行う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		フェアトレードに関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を開いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	フェアトレードに関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができてきているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		分詞構文、未来完了の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	分詞構文、未来完了の形・意味・用法を理解できる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Com II Lesson 2 (14 時間)	日本の伝統的な学校行事である「運動会」が発展途上国の学校で開催され、現地の教育の活性化につながった様子について詳しく記した文章を読み、自国文化を海外に伝え、交流を図る意義について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		マラウイで開催された手作りの「運動会」に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べる。	ワークシートを利用して、それぞれのスピーカーの話す内容をメモに取り、まとめる。	マラウイで開催された手作りの「運動会」に関心を持ち、ペア・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べることができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		マラウイで開催された手作りの「運動会」に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を聞いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	マラウイで開催された手作りの「運動会」に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
Com II Lesson 3 (14 時間)	自然界には生物が環境の中で生き抜くために発達したさまざまなテクノロジーがありそれを環境に優しい科学技術に発展させることができる。このようなネイチャー・テクノロジーについて学び、人間を豊かにする科学技術について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自然から学ぶ科学技術および環境問題に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べる。	ワークシートを利用して、それぞれのスピーカーの話す内容をメモに取り、まとめる。	自然から学ぶ科学技術および環境問題に関する話に関心を持ち、積極的に自分の考えを述べるができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		自然から学ぶ科学技術および環境問題に関する話を聞くこと、読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を聞いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	自然から学ぶ科学技術および環境問題に関する話を聞くこと、読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		複合関係代名詞、複合関係形容詞、複合関係副詞、関係副詞[非制限用法]の形・意味・用法を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	複合関係代名詞、複合関係形容詞、複合関係副詞、関係副詞[非制限用法]の形・意味・用法を理解できる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。

学校番号

3016

枚のうちの

「学校設定教科に関する科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
特別研究	国際情報	1	2	最新 情報の科学(実教) ケーススタディ情報モラル(第一学習社)

到達目標	情報機器を操作して外国語で表現された情報を受信し、また外国語でのコミュニケーション能力を高めて、情報を外国語で表現し、マルチメディアによる表現と統合して情報を効果的に伝える知識や技能を習得させる。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	情報を表現伝達する場面としてプレゼンテーションを取り上げ、生徒の興味関心に応じて理科の実験データや模擬実験データを用いて図・グラフ・表・写真・動画等による表現方法を取り上げる。また、情報源として、科学的な外国語の文章も扱う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	情報社会・セキュリティ	情報社会・セキュリティ。コンピュータのしくみ。学情ネットワーク利用上の注意。検索エンジンの利用法。	取り組み 態度	検索エンジンを積極的に使いこなしているか。セキュリティや情報の信憑性に留意できているか。
5月	情報モラル 情報の発信	Eメールの実習。ネットワークコミュニケーションのモラル。プレゼンテーションのスライド作成実習。	取り組み、態度 掲示板等についてのディスカッション	Eメール等の適切な発信、返信ができるか。人権感覚が身についているか
6月	情報通信ネットワークとコミュニケーション、モデル化とシミュレーション	表計算ソフトの基礎と応用。グループで理科の実験や模擬実験に取り組みプレゼンテーション発表を行う。	発表 相互評価	スライドが作成できるか。グラフによる分析ができるか。
7月	マルチメディアによる情報表現	プレゼンテーションの修正。プレゼンテーション再実施。	図やグラフが見やすく改善されているか	分かりやすく発表できたか。問題点が解決されたか
8月	情報通信とコミュニケーション	データサイエンスとして統計を扱う。	取り組み 態度	積極的に取り組んでいるか
9月	マルチメディアによる情報表現	統計ソフトの利用。表計算と統計ソフトを利用しプレゼン発表 情報の表し方(2進数・2の補数)	レポート作成 前期末考査	前期の講義内容が理解され身についているか レポートの出来ばえ
10月	情報通信ネットワークとコミュニケーション 知的財産権	研究の基礎としての英語のディベートについて。知的財産権(著作権、産業財産権)個人情報の保護	レポート作成	講義内容が理解されているか
11月	情報通信ネットワークとコミュニケーション	研究の基礎としての英語でのディベートを実施する。 ネットワークのしくみ	実習態度 ディベートの試合の取り組み	役割が果たせたか。
12月	マルチメディアによる情報表現	研究の基礎として、グループプレゼン発表を行う。英語を含んだプレゼンも行う	研究レポート作成 発表 相互評価	積極的に取り組んでいるか
1月	情報モラル 問題の解決	情報化社会の光と影 アルゴリズム、セキュリティと暗号	態度、取り組み	講義内容が理解されているか
2月	処理手順の自動化	プログラミング	態度、取り組み	積極的に取り組めたか
3月	情報通信ネットワークとコミュニケーション		学年末考査	後期の内容が理解されているか

別紙様式3-①の(2)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。